

WS「ガイダンス」

例（次回以降は、これらの目的を達成することが授業目標です）

この単元の目的 次の内容ができるようになる

・電子の授受による酸化・還元の定義を説明できる。

この時間の目的 次の内容ができるようになる

↓自己チェック できたと思ったら塗りつぶす

同じ条件で比べることにより、金属同士のイオン化傾向の大小を説明できる。

今日の時程 点呼 3分 ワークシート両面 87分

課題1. 次の文を読んで理解しなさい。

化学とは…

ここに1円玉がある。1円玉は1gの円形の物体であり、アルミニウムという物質でできている。たとえ物体は変形する。半分にすると物体は2つになる。変形したり分割したりすると物体の運動のしかたが変わる。いっぽう、変形しても分割しても、アルミニウムが塩酸に溶ける性質に違いはない。物体を対象にする学問が物理学であり、物質を対象にする学問が化学である。

実験とは…

数学の定理は定義と公理から導かれたものであり、絶対にくつがえられない。数学上の定理の発見者は永久に安泰である。一方、科学の発見はあとになってくつがえることがある。実験が証明し、理論は実験結果を説明する。

ノートとは…

ノートをキレイに取るように教えられるのは小学校である。なぜ子ども任せにしないのか。それはノートを通して学習の方法を学ばせているからである。また、中学校等でノート提出を求められることがある。なぜノートを回収するのか。それは授業を受ける姿勢とノートを取る技術の確認のためである。授業中にノートを取るのは、あとで読むためである。また、授業中の合間にノートを取らなくてはならないので書くスピードも必要である。つまり、「キレイなノートだが書くのが間に合わない」「汚いノートで読む気も起こらない」のは板書を取る目的に合わない。(上記の場合、補助の機器を使用してよい。教室掲示参照。)

他人のノートや活字の板書記録をあとで読んでも頭に入らないことがある。逆に、自分の字を見るとそのときの授業の様子が思い出されることがある。授業中に思ったことを書き留めておく(それが授業とは関係ないことであっても)授業を思い出しやすいきっかけになる。

安心感とは…私が授業で最も大切だと思っている「生徒の安心感」について少し説明します。

表. 評価の配点

	関心意欲態度	思考判断表現	観察・実験の技能	知識理解
チェックテスト				20 %
ワークシート	5 %	10 %		5 %
実験プリント			20 %	
定期考査		[考察問題] 20 %		[知識問題] 20 %

※ 提出物を評価対象とする（未提出は評価しない）

※ 公欠、出停、忌引は出席して取り組んだものとして評価する

以上の計算で出した評価点で評価・評定を出す

90%以上⑤、80%以上④、65%以上③、50%以上②、50%未満①（追試対象）

課題2. 次の文を読んで、問いに答えなさい。

この授業は次の目的を達成するための時間です。

「①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、②目的意識をもって観察、実験などを行い、
③科学的に探究する能力と態度を育てるとともに④自然の事物・現象についての理解を深め、
⑤科学的な自然観を育成する。」(高等学校学習指導要領より引用、傍線と丸数字は松本加筆)

問. あなたはこの授業で何を得ようとしていますか？ それは上の枠内のどれと関係ありますか？

課題3. 名前札に氏名（フルネーム・ふりがな付）を記入してください。

（毎回これを教卓から持参し、自分の前に置くこと）

次回から授業で使うもの

名前札、教科書、ノート（サイズ等のご自由に）、筆記用具（3色ボールペン推奨）

今後の注意とお願い

提出物は個人が特定されない形で授業内外で公表することがあります。授業中、黒板の板書や実験を写真撮影します。授業記録と改善のためです。（教室掲示参照）

アンケート.

アンケート項目を選んで回答してください。（任意）

① わかりにくかったこと疑問に思ったこと ② 興味を持ったこと ③ その他

部組番号

氏名

ワークシート点 6 5 4 3 2 1